群馬県中学校長会

会報

— No.49 —

平成28年8月19日発行
群馬県中学校長会
会長　中村　和雄
前橋市文京町二丁目19－18
電話　027（223）7158

子どもたちが輝く学校づくりを

群馬県中学校長会長　**中村　和雄**

今、学習指導要領の改訂に向けた動きが一段と加速しています。中でも、チーム学校やアクティブ・ラーニング、カリキュラムマネジメント、コミュニティースクール化等は、今から教職員の関心を高めて体制を築くなど、校長はこれからの学校改革の展望と計画を立て、示していく必要があると思います。

こうした改革の必要性を踏まえ、本会は、今年度、次の四つの基本方針に基づいて活動していきたいと考えています。

1．本会の存在意義である「県内各地のそれぞれの中学校の充実と活性化」のために、様々な活動や研究・研修にしっかりと取り組み、各校の学校づくりに役立つ活動を推進する。

2．本会の主体性を発揮するとともに、県教育委員会や関係機関との連携強化により情報を共有し、提言を行い全県的な教育課題への対応と改善に努める。

3．研修を通して校長としての力量を高め、その成果を各校の学校経営に反映させる。

4．県中学校長会70周年を間近に控え、記念誌、記念行事等の企画を進めるとともに、平成31年度の全日中群馬大会に向け、その基本計画を策定する。

以上の基本方針に沿い、専門部活動を含め、中学校長会一丸となって取り組んで参りたいと思います。

ところで、私の好きな言葉の一つに『有事人生』という言葉があります。これは、人は生きていれば必ず目の前に課題が現れてくるものであり、その課題を解決するために目標を立て、懸命に努力して乗り越えていく。そのことが人生そのものなんだという意味の言葉です。私たちが教員になってから、いつの日にもその時々の課題が山積していました。それを乗り越えてきたからこそ、今があるのだと思っています。

このことに誇りと自信をもち、県教委や高校等と連携・協力し合う中で、解決困難な課題が山積している状況を乗り越え、県内のそれぞれの中学校の子どもたちが生き生きと輝く学校づくりに向かって、一緒に邁進していきましょう。